

第22回奈良公園植栽計画検討委員会

サクラ育生に関する調査検討 (茶山園地 サクラ類の根頭がんしゅ病) 経過報告

目次

1. 調査検討の目的 ……2
2. 専門家の協力体制 ……3
3. 調査・分析の進捗状況 ……4

1. 調査検討の目的

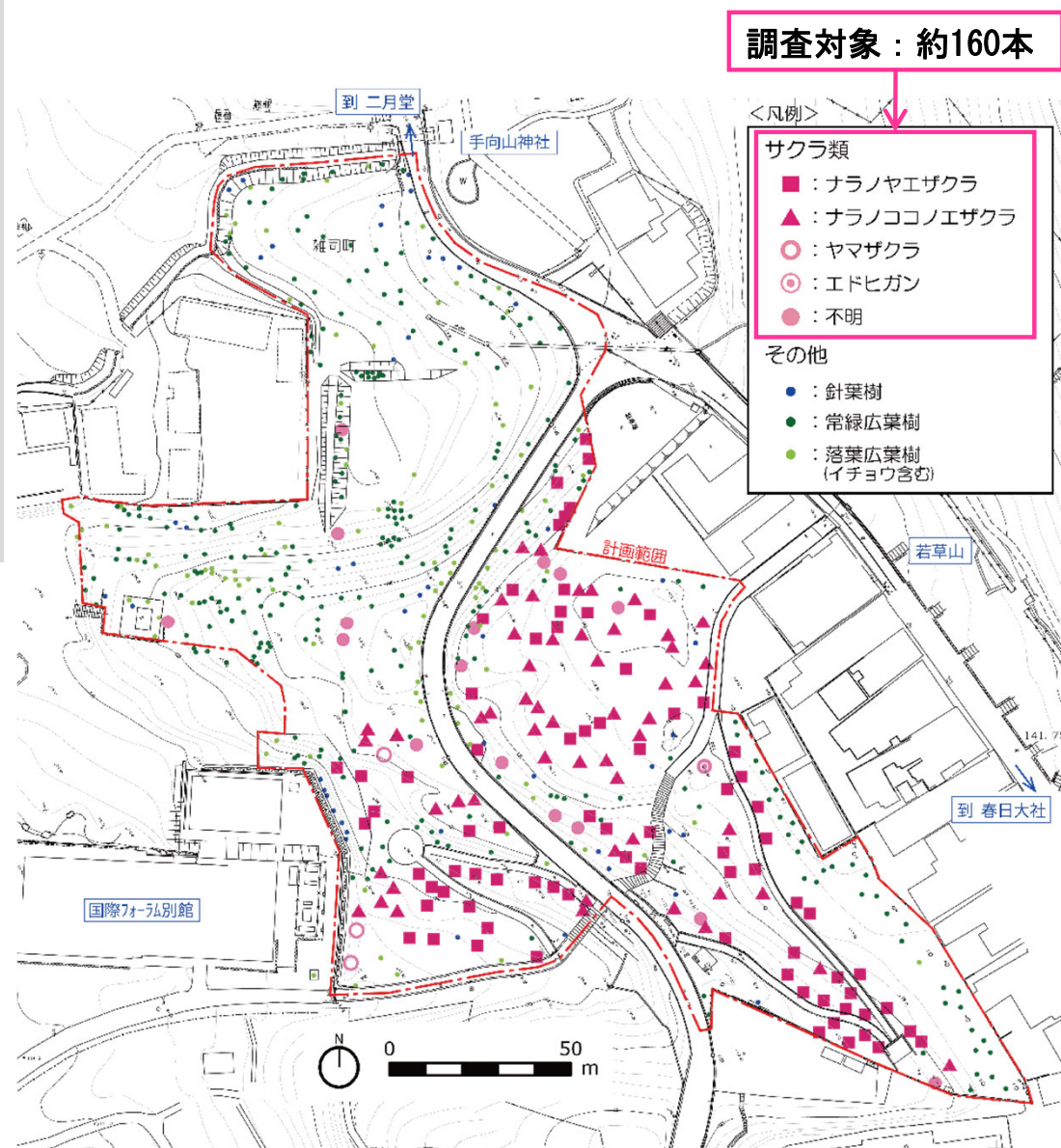
調査検討の目的

令和3年度に策定した茶山園地の植栽計画・実施計画において方針が示された、サクラ類の根頭がんしゅ病対策について、専門家から随時指導を受けながら、下記を実施する。

- ①罹病状況の把握調査
- ②病理検査（原因菌の特定）
- ③調査計画の検討

根頭がんしゅ病対策の方針・進め方(実施計画より)

- 根頭がんしゅ病対策の方針
 - ・公園利用とサクラ林としての景観を維持しながら、対策を行う。
 - ・「現状維持しつつ樹勢回復を図る対策」と「早期に病害の低減を目指す対策」の両輪で、状況に応じた根頭がんしゅ病対策に取り組む。
 - 根頭がんしゅ病対策の進め方
 - ・専門家や研究機関からの助言・協力を求めながら、計画対象地の根頭がんしゅ病の詳細な調査を行い、現況を正確に把握する。
- ↓
- ・調査成果に基づいた具体的な対策を検討・実施する。
(園地内の一部で実験的・試行的な取組を行うことも想定)



2. 専門家の協力体制

知見の少ないサクラ類の根頭がんしゅ病への対応にあたり、下記3名の専門家のご協力を頂き、多分野の視点から適宜指導いただきながら検討を進める。

ご協力頂く専門家

樹木医・植物医師

笹部 雄作 氏

- ・サクラ類の病害の診断や治療に多数のご経験あり
- ・植物病理学、植物生理学へも造詣が深い

植物病理学・植物医師

東條 元昭 氏

大阪公立大学大学院 農学研究科
植物病理学研究G 教授

- ・土壌伝染性の菌類がご専門

植物病理学

浅野 峻介 氏

奈良県病虫害防除所
主任研究員

- ・バラがんしゅ病の診断や検出のご経験あり
- ・東條教授のご紹介

● 9月29日3名に立ち合い頂き、意見交換を行った

【主なご意見】

- ・若木（初期診断の対象外）にも、根頭がんしゅ病と思われる症状を複数確認できる。
- ・根系へのシカの食害は散発的で、根頭がんしゅ病との関連は薄いのではないか。
- ・サクラ類から *Agrobacterium tumefaciens*（根頭がんしゅ病菌）を抽出することは、未解明な部分も多く、手探りで進めていくことになる。

3. 調査・分析の進捗状況

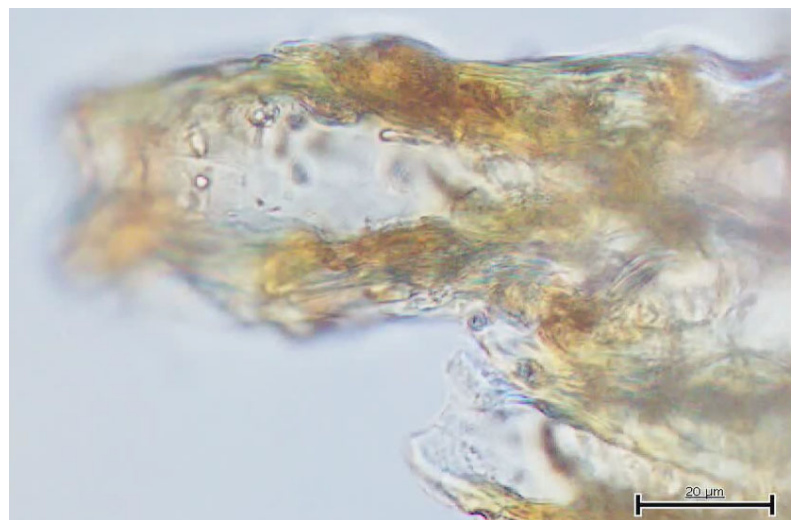
調査日：9月27～29日に実施（29日に専門家立ち合い）
・現在、把握調査結果と原因菌の分析を進めている。



サンプル採取の様子(左:浅野氏、右:東條教授)



根頭がんしゅ病と思われるがんしゅの切り口



がんしゅと思われるから箇所から採取した検体の顕微鏡画像

東條教授より、視察時に採取した試料より細胞内に細菌を確認したと報告があり、現在、これが根頭がんしゅ病菌かを分析中。

●今後の進め方

- ・把握調査がまとまり次第、立地や品種、樹齢や症状等から罹病傾向を分析し、傾向によりグルーピングを行った上で、調査方法を検討する。
- ・調査方法においては、一部で実験的・試行的な取組を行うことも想定される。